

# 令和2年度 小平第二みどり作業所 事業報告書

## 1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、利用者の活動の縮小を余儀なくされるなど、これ迄に経験したことのない事態への対応が求められた。また、就労支援事業の収入の減少により、利用者の工賃にとっても厳しい1年となった。多くの利用者は年度当初、不安感やストレスも大きかったものと推測するが、状況に変化に徐々に適応し、1年間安定して通所できたことは良かったと感じている。事業所としても感染防止対策の徹底や、行事を毎月実施するなど利用者のストレス軽減に力を注いできた。

事業計画の重点目標においては、PDCAサイクルの実施、就労支援事業の強化、職員の定着率向上による人材育成を柱に取り組んできた。少しずつ改善が図られているものもあるが、まだ課題は多く、令和3年度においても継続して取り組む必要がある。

## 2 事業概要

- 1) 施設名 小平第二みどり作業所
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市天神町3-7-16
- 4) 経営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40名
- 6) 利用現員 45名（令和3年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員 12名（令和3年3月31日現在）

管理者	1名	常勤1
サービス管理責任者	1名	常勤1
職業指導員	3名	（常勤換算3.0）
生活支援員	6名	（常勤換算4.5）
目標工賃達成指導員	1名	常勤1

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現  
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築  
安心と希望の持てる生活

## 4 基本方針

- 1) 就労支援
  - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
  - ② 生き生きと働ける職場
  - ③ 職業指導の充実
  - ④ 賃金の保障
  - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
  - ① 日中活動の支援
  - ② 豊かな生活の支援
  - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
  - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
  - ⑤ 利用者への相談支援
  - ⑥ 安心できる将来への支援

## 5 実施事業（活動内容）

### 1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 受注作業（切手仕分け作業等）

### 2) 生活支援事業

- ① レクリエーション（月1回実施）
- ② 音楽教室（年間通して中止）
- ③ 旅行（年1回実施）
- ④ 生活支援プログラム（週3日実施）
- ⑤ 夕方生活支援事業（4月のみ週3日実施、5月以降は中止）

### 3) 行事

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 4月  | 永年勤続表彰式・新社会人を祝う会 |
| 5月  | 創作活動（折り紙）        |
| 6月  | 創作活動（オカリナ）       |
| 7月  | ビンゴ大会            |
| 8月  | 夏祭り              |
| 9月  | 創作活動（ステンドランプ）    |
| 10月 | 一泊旅行             |
| 11月 | 創作活動（ペンライト）      |
| 12月 | 忘年会              |
| 1月  | 成人を祝う会           |
| 2月  | 創作活動（プラ板）        |
| 3月  | ボードゲーム           |

## 6 日 課

開所・送迎・清掃	8:30～ 9:00
朝 礼	9:15～ 9:30
作 業	9:30～10:30
休 憩	10:30～10:45
作 業	10:45～11:45
片付け	11:45～12:00
昼休み	12:00～13:00
昼 礼	13:00～13:15
作 業	13:15～14:15
休 憩	14:15～14:30
作 業	14:30～15:30
終 礼	15:30～15:50
送 迎	15:50～16:30
清掃・記録等	16:30～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

## 7 重点課題・目標に対する成果と課題

### 1) 活動

(1) PDCAサイクルの実施による利用者支援の充実。

- ①個別支援計画を丁寧に作成の上、それに基づいた支援、評価、見直しを実施する。
- ②利用者一人ひとりにあった作業の実施及び作業技術や意識の向上。
- ③相談及び生活支援の充実。

### 【成果と課題】

新人の職員には、作業種毎に先輩職員が集中的に指導にあたり、年度の早い段階で統一した支

援が実施できていた。そのため、作業支援においては、支援計画に沿って行われ、利用者の技術や意識の向上につなげることができた。作業以外の支援においては、個々の利用者の課題の把握は共有できているが、具体的な支援について組織的に評価するに至っていない。また、ケース記録への記載が不十分であり、計画の評価が職員の記憶や感覚に頼って行われていることが多くなった。

相談支援においては、全利用者又は家族と面談を行い、作業や行事に対する希望を聴取した。事業所の活動や生活面において大きな問題はなく、殆どの利用者が順調に過ごしているとのことであった。ただし、気持ちが不安定となることが多かった3名の利用者については、面談や関係者会議により気持ちの安定化に向けて取り組み年度後半には安定して通所できるようになった。

## (2) 就労支援事業の実施体制の建て直し

### ①クッキー事業

職員の配置計画では担当職員は4名であるが、前年度末に職員の退職があり、年度当初は、2名体制でのスタートとなる。職員の不足に加え、担当者の変更もあり、技術水準も落ちることが予測される。また、これまで、目標製造数達成のための職員の時間外勤務の負担が大きく、目標製造数の設定に問題があったと感じている。労働環境改善のために目標数の見直しが必要となっている。以上の理由から、製造計画の見直しを実施し、職員体制の整備、技術の向上による製造体制の充実を2年計画で段階的に実施していきたい。

#### 目標製造個数の見直しについて

令和元年度の目標製造個数 年間37,000個 (実績33,000個)

令和2年度の目標製造個数 年間26,000個

#### 目標売上について

令和元年度の目標売上 年間 6,900,000円 (実績6,000,000円)

令和2年度の目標売上 年間 4,550,000円

#### 令和2年度の取り組み

- ・職員の確保一遅くとも5月上旬迄に4名の体制とする。
- ・職員の技術向上、特に新任職員への技術指導の強化。
- ・新商品の開発
- ・販路の安定確保 (イベント販売・贈答品のキャンペーンの実施・委託販売 等)
- ・毎月、製造計画の達成度の評価を行う。

### 【成果と課題】

クッキー製造については、2名の職員配置でスタートしたが、5月には2名を採用し、目標の4名体制となった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、クッキーの製造数を抑えることとなり年間の平均では3名の配置となった。新型コロナウイルスによるイベント販売の中止があったが、新規開拓した委託販売先の売上が好調であったことや、お中元およびお歳暮対策による反響が大きかったことから、結果的に製造個数及び売上ともに目標に達することが出来た。

その他の取組については以下のとおりである。

#### ◆職員の確保、技術向上、技術指導強化

徐々に、新人職員の製造技術は身についてきているが、1日の作業の組み立てや利用者への作業指導についてはまだスキルが不足している。

#### ◆新商品の開発

前述の理由により、目標の4名を配置することができず、新商品の開発は行えなかった。

#### ◆製造計画の達成度を評価する

毎月の職員会議で製造数や売上金額及び計画の進捗度は報告されていた。しかし、施設長と職員との間の情報共有が不十分で製造現場の実態に応じた計画の遂行できていなかった。

(製造現場では新人職員の加入もあって適正な製造数としていたが、施設長は販売先の減少のため製造数の調整を行っていると考えていた。)

(令和2年度クッキーの製造個数及び売上実績)

	製造数	売上
年間目標	26,000個	4,550,000円
年間実績	29,459個	5,092,558円
達成率	113.3%	111.9%

## ②パン事業

職員の配置計画通り担当職員は3名でスタートする(内1名が新任)。職員体制は前年度より改善したが、前年度は販路先や販売要員が不足し、製造を抑えざるを得ない状況があり、売り上げが目標に達しなかった。また、担当職員の技術もまだ向上が必要な状況である。以上の理由から、販路の拡大、技術の向上による売上拡大を3年計画で段階的に実施していきたい。

### 目標製造個数の見直しについて

令和元年度の目標製造個数 年間21,700個(実績19,600個)

令和2年度の目標製造個数 年間28,000個

### 目標売上について

令和元年度の目標売上 年間2,900,000円(実績2,390,000円)

令和2年度の目標売上 年間3,500,000円

### 令和2年度の取り組み

- ・職員の技術向上。
- ・新商品の開発
- ・販路の拡大(委託販売先の増加、定期的な販売場所の増加、宣伝強化、等)
- ・毎月、製造計画の達成度の評価を行う。

## 【成果と課題】

### 製造個数の見直し、目標売上等

パン製造については、製造の目標設定を前年度比で増加させたが、新型コロナウイルス感染防止の影響に伴い、出張販売が中止となり、製造数及び売上金額ともに目標を達成することは出来なかった。また、売れ残り商品の廃棄を防ぐため、値下げして販売したことも影響し、製造の達成率に対し、売り上げの達成率が約10%少ない結果となった。

その他の取組については以下のとおりである。

#### ◆職員の技術向上

計画通り3名の職員体制で取り組んだ。各職員の製造技術も順調に向上している。

#### ◆新商品の開発

64個の新商品を開発し、その内44個を商品化した。うち6個については売れ行きが悪かったため、製造を中止した。結果的にパンの種類は既存のものも含めると合計で56種類となった。

#### ◆販路の拡大

店舗の紹介チラシを作成し、9月に事業所近くの遊歩道にて配布したところ、店舗に来店される方が増え、9月以降の売り上げ増につながった。

#### ◆製造計画の達成度を評価する

毎月の職員会議で製造数や売上金額及び計画の進捗度は報告されていた。販売先の不足が課題であったが、積極的に対応策を講じることができなかった。

(令和2年度パンの製造個数及び売上実績)

	製造数	売上
年間目標	28,000個	3,500,000円
年間実績	24,148個	2,706,222円
達成率	86.7%	77.7%

### ③その他の作業を含めた収益

	目標作業収益(円)	令和元年度見込	差額
クッキー製造事業	455万	585万	△130万
パン製造事業収入	350万	246万	104万
清掃作業収入	150万	134万	16万
受注作業収入	7万	7万	0
その他作業等	1万	2万	△1万
合計	963万	974万	△11万

#### 【成果と課題】

パンの売り上げが目標を約80万円下回ったことが大きく影響し、就労支援事業全体では、目標を約20万円下回った。また、当期収支差額においても、△約90万円となり前期末支払資金残高を取り崩すこととなった。

#### 《目標との比較》

	クッキー	パン	清掃事業	受注事業収入等	合計
2年度目標	455万	350万	150万	8万	963万
2年度実績	503万	270万	160万	10万	943万
目標と差額	48万	△80万	10万	2万	△20万
目標の達成率	110.5%	77.1%	106.6%	125.0%	97.9%

### (3) 工賃水準の維持

#### 【成果と課題】

これ迄、時給を定額の200円で支給してきたが、就労支援事業収入の変動に対応するため、7月に収入に応じて時給を変動する工賃支給基準に改定した。また、定額時給を支給するために留保していた支払資金残高を段階的に取り崩すこととし、結果的に令和2年度は収入の減少があったが、資金残高の取り崩しで平均時給は238円となった。

## 2) 人材育成

### (1) 職業指導員、生活支援員

- ① 定着率向上のために管理職は次のことを行う。
  - ・ 職員一人ひとりに役割と業務の成果を明確に示す。
  - ・ 職員とのコミュニケーションを強化する。
- ② 各職員は次のことを実践する。
  - ・ 職員間の連携、協働、情報共有によりチーム支援を充実させる。
  - ・ 個別支援計画を意識した支援を行う。
  - ・ 支援スキルの向上を図る。

#### 【成果と課題】

- ① 職員の業務スキルに応じた役割分担を行うとともに、業務へのやりがいを意識し、一つひとつの業務内容の意味あいや必要性、構造・仕組みなどを丁寧に説明することに努めた。また、コミュニケーションを図り評価や課題についても明確に示すように努めた。4名の新規職員が確保できたが、2名の退職があり、定着率の向上に至っていない。
- ② 利用者への作業指導や目標の達成度合いなどの共有が図られ、概ね支援計画に基づいた支援を行うことができ、利用者が新しい工程ができるようになるなど作業技術の向上につながった。また、作業以外については、体調面や心情面において、落ち着かない傾向がある利用者に対し、その都度丁寧に対応し、職員間で状況を共有した。しかし、支援の効果やその後の利用者の様子について検証されていないことがあり、記録についても不十分であった。支援の意識が作業に偏りがちのため、利用者の生活面についても意識した支援を行うことが課題

である。

### 3) 経営管理

#### (1) 訓練等給付費の安定確保

≪令和2年度目標(2名受入)≫

1日平均利用者37人(46人在籍)

職員配置13名(常勤換算10.7名 管理者含む)

#### 【成果と課題】

計画を上回る3名の受け入れを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用自粛があったことから1日平均利用者数は36.6人と計画をやや下回った。しかし、新たに4名が送迎を開始したことや在宅支援の実施により、給付費収入は目標を約160万円上回った。

#### (2) 月次試算による経営状態の把握

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。

#### 【成果と課題】

月次試算分析は丁寧に行い、経営状態の把握はできていたが、そこで明らかになった就労支援事業会計の収支悪化への対応は自発的に行うことができず、法人からの指摘を受けて給与基準の改定を行った。

#### (3) コスト削減

節電節水節約に務めコストの削減を行う。

#### 【成果と課題】

節電意識は改善されてきているが、エアコンやパソコン等の消し忘れが散見された。

### 8 その他の成果と課題

1) 職員及び利用者インフルエンザ予防接種を実施し、インフルエンザの罹患者はいなかった。

### 9 事故等報告

1) クッキー製造事業における異物混入事故

10月 委託先で販売したクッキー内に髪の毛が混入する事故が1件発生した。献上状態に問題はなかった。

### 10 開所状況

1) 開所期間 自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間

(2) 開所時間 午前9時～午後4時

(3) 年間延開所日数 242日間(前年度 244日間)

(4) 平均活動時間 7時間

### 11 利用状況

1) 利用者延人員 8,848人(前年度 8,618人)

2) 1日平均利用人員 36.6人(前年度 35.3人)

3) 体験実習者延人員 18人(前年度 72人)

4) 1日平均実習人員 0.07人(前年度 0.29人)

5) 実習者実人員 2人(前年度 18人)

### 12 利用者状況(令和3年3月31日現在)

1) 年齢

20歳未満 1名

20歳以上30歳未満 17名

30歳以上40歳未満	8名
40歳以上50歳未満	12名
50歳以上60歳未満	6名
60歳以上70歳未満	0名
70歳以上	1名

2) 障害の状況

愛の手帳	43名 (内身障手帳4名、精神保健手帳2名)
身体障害者手帳	5名 (内愛の手帳4名)
精神保健福祉手帳	2名 (内愛の手帳1名)
手帳不所持	0名

3) 通所手段

送迎車利用	18名 (内3名家族送迎、3名交通機関)
交通機関利用	9名 (内3名送迎)
徒歩等	18名
家族送迎	7名 (内3名送迎)

4) 居住状況

管内居住	34名	管外居住	11名
------	-----	------	-----

5) 性別

男性	29名	女性	16名
----	-----	----	-----

1.3 利用者工賃

平均工賃	月額	:	13,800円 (前年度	12,415円)
	日給	:	839円 (前年度	776円)
	時給	:	238円 (前年度	231円)

1.4 生活支援PG実施状況

1) 実施日数

(1) PG実施日数	134日
(2) 週平均実施日数	2日

2) 利用者 (令和3年3月31日現在)

(1) 利用者数	2人
(2) 利用者延人数	134人

3) 支援者 (令和3年3月31日現在)

(1) 職員	2人
(2) アルバイト	6人
(3) 職員延人数	24人
(4) アルバイト延人数	113人

4) 内容

(1) ウォーキング	134回
(2) プール	0回

1.5 夕方生活支援事業実施状況

(1) 参加者	実14名	延べ24名
(2) 延実施回数	: 13回	

【月別実施状況】

実施月	実施回数	延参加人数
4月	: 4回	15人
5月	: 0回	0人
6月	: 0回	0人

7月	:	0回	0人
8月	:	0回	0人
9月	:	1回	1人
10月	:	2回	2人
11月	:	2回	2人
12月	:	1回	1人
1月	:	2回	2人
2月	:	0回	0人
3月	:	1回	1人
合計		13回	24人

【内容別実施及び参加状況】

内容	実施回数	延参加人数
散歩	1回	4人
カードゲーム	1回	2人
テーブルゲーム	1回	8人
ボウリング	2回	2人
ドライブ	8回	8人
合計	13回	24人

1.6 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.7 防災

災害時避難訓練を年2回実施した。3月に計画していた防災訓練についてはコロナウィルス感染拡大防止のため中止とした。